



2013-14 年度 R I のテーマ「ロータリーを實踐し  
みんなに豊かな人生を」  
R I 会長 ロン D. バートン (Engage Rotary, Change Lives)  
八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 北山 輝夫 ● 会長 小原 隆平 ● 幹事 清川 浩幸 ● 会報委員長 三浦 晃  
ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email : [hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)  
RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org>

第 1859 回例会記録 <<姉妹クラブ委員会担当例会>>  
2013 年 11 月 21 日 (木) 点鐘 12 : 30

レポート No. 1297

第 1859 回例会要旨

- ・ 会長要件《小原会長》
- ・ 幹事報告《清川幹事》
- ・ 各委員会報告  
    <<出席、親睦>>
- ・ 姉妹クラブ委員会



米内 S A A

《ビジター》

八戸東 RC            柿崎 隆雄様  
八戸中央 RC        新田 淳也様

《会長要件》小原会長



フィリピンを襲った史上最大の台風 30 号では、昨日の段階で死者 4,000 人以上、行方不明者約 1,600 人であり、現地に居住する日本人 10 人余りの安否もまだ不明の状況とされています。

19 日の朝、ロン D. バートン R I 会長から、「フィリピンへの支援について」というメールが私宛に届きました。このメールは、R I のウェブサイトにて E メールアドレスを登録している全てのロータリアン宛に発信されているものと思います。ロン D. バートン会長は、各クラブにすぐに行動を起こすことを御願ひし、「ロータリーは災害救援団体ではありませんが、助けを必要とする人を支援することが、ロータリーの仕事です」と述べています。

ガバナー事務所からは、18 日付けで「フィリピン中部地域大災害復旧支援義援金募集」ということで、任意ではありますが会員一人 1,000 円を目標とする義援金を御願ひしたいとの連絡がありました。東日本大震災の蕪島公衆トイレ建設に際して当クラブが世界中から支援を頂戴していることを勘案し、本件について先ほど臨時の理事役員会を開催し、本日より来週の例会で義援金を募るとともに、不足分をニコニコボックスから上乗せして合計 10 万円の義援金を地区国際平和資金口座へ送金することを決議しました。皆様の御協力を御願ひします。

さて、全く話は変わりますが、11 月 7 日東奥日報



《出席報告》田守出席委員長  
正会員数 44 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 26 名。出席率 68%です。前々回の例会は任意休会でした。

夕刊第 7 面の「ららら音楽人生」という特集に「NANSHU&DANKERS」という記事が載っていました。これは、当クラブ会員の田口さん、久保田さんを含む八戸高校 16 期生 6 人編成のいわゆるおじさんバンドの紹介記事です。田口さんはギター、久保田さんはキーボード担当で、1960 年代から 70 年代のグループサウンズの曲のコピーをメインとし、8 月で結成 25 周年を迎えたということです。なかなか楽しい記事ですので、ぜひ一読いただきたいと思います。

《本人誕生日》      《奥様誕生日》



山子会員



橋本会員



熊谷会員

《幹事報告》清川幹事

- ・ 第 2830 地区南分区 IM のお知らせが届いています。1 月 25 日 (土) 15:00 ~
- ・ シドニー国際大会の資料をテーブルに置いています。申し込みはガバナー事務所まで
- ・ 例会変更のお知らせです。  
八戸東 RC 12 月 6 日 (金) 時間、場所変更、12 月 20 (金) 任意休会、12 月 27 日 (金) クリスマス家族例会、八戸北 RC 12 月 17 日 (火) 時間変更、12 月 31 日 (火) 休会、八戸中央 RC 12 月 23 日 (月) 祝日のため休会、12 月 30 日 (月) 休会



## 《ニコニコボックス》平光親睦委員長

八戸中央 RC 新田会長：

IM のお願いに来ました。ご出席  
お願いします。

小原会長： 姉妹クラブ担当例会  
よろしくお願  
いします。

清川幹事： 姉妹クラブ委員会担  
当例会よろしく  
お願いします。

久保田会員： 11月7日東奥日報夕刊に掲載されました。

平光会員： クリスマス家族例会まであと1か月にな  
りました。ご協力よろしくお願  
いします。

結婚記念日： 小原会長

本人誕生日： 山子会員

奥様誕生日： 橋本会員、熊谷会員



## 《IMの御願い》八戸中央 RC 新田会長

IM の御願いに参りました。日  
時は1月25日(土)です。受付  
開始14:30から、懇親会開場は  
17:40～になっています。テーマ  
は北山ガバナーの意向に沿って  
「青少年奉仕」で企画しました。  
第一部は八戸警察署の講師の方の  
基調講演、第二部はパネルディス  
カッションでパネラーの方に青少  
年奉仕についてご意見をいただき  
ます。ぜひIMにご参加お願  
いします。



## 《姉妹クラブ委員会》

小原会長

南浦項RC創立31周年記念式典出席のため、黒田

元RI理事、佐々木元会長、  
清川幹事及び私の4名で韓  
国に行ってきました。11月  
7日に三沢から羽田に飛び、  
羽田からソウル金浦空港に  
向かいました。翌朝、ソウ  
ルから浦項空港へ向かい、  
南浦項RCメンバーの出迎

えを受け、昼食は浦項市内の竹島市場(チェックシ  
ジャン)の中にあるロータリーメンバー経営の料理  
店で刺身他の魚料理を御馳走になりました。この市  
場はかなり大規模で、3,000以上の店舗が集まって  
いるそうです。

18時半から、ウェディングヘリッツという建物で  
記念式典が始まりました。

最初に、この1年間の主な行事、奉仕活動、歴代  
会長・幹事の写真等を編集したDVD映像が5分間  
程度スクリーンに映し出されました。結構速いテン  
ポで映像が次々に変わっていき、1年間で多くの行  
事や奉仕活動を行っていることに驚きました。その  
後、点鐘、国歌斉唱、ロータリー綱領、四つのテスト、  
ロータリーソング、来賓の紹介、事業実績の紹介、  
奨学金の伝達と続いた後、姉妹クラブの記念品交換  
があり、私が登壇しました。持参する記念品を何に



するか迷いましたが、先月上京した際に、尾形光琳  
の絵柄の七宝焼きの飾り皿を買い、これを記念品と  
しました。今回は、お互いに包装したままで交換し  
たため、会場に披露することは出来ませんでした。  
南浦項クラブから頂戴したのは、この合竹扇です。  
全州(チョンジュ)の手芸品として有名なものらしく、  
説明書によると、絵は、全州出身の「素丁 姜泰虎」  
という方の作です。韓国書画大展特選2回その他数々  
の入選歴を誇る有名な方ようです。

趙誠範(Cho, Sung Beom)会長の挨拶、第3630地  
区李(Lee, Dong Ho)ガバナーの祝辞の後、私の祝  
辞の順番になりました。昨年の熊谷会長に倣い、最  
初は「ヨロブン アンニョンハセヨ」で始めました。  
祝辞では、1986年以来の姉妹クラブ交流を誇りとす  
る旨を述べ、蕪島公衆トイレ建設に際しての支援に  
改めて感謝するとともに、今年5月に蕪島が三陸復  
興国立公園に指定されたことを述べました。ここで、  
記念誌に書かれていませんが、蕪島公衆トイレの寄  
附により2013年度八戸市善行者表彰を受け、6日に  
表彰式があったことを述べ、私達が現地で依頼した  
ガイドの金度希(Kim Do Hee)さんに通訳を御願  
いしたのですが、事前の打ち合わせ不足のためうまく  
いかず、結局、李東均(Lee Dong Kyun)パストガバナー  
に通訳していただき、会場から大きな拍手をいただき  
ました。その後、台湾の姉妹クラブ会長の祝辞、  
友好クラブの全州中央RCの祝辞と続いた後式典は  
終わりました。

第2部は友情の時間となり、乾杯、食事となりま  
したが、途中で他の来賓と一緒に黒田元RI理事と  
私が前に呼ばれ、ケーキ入刀とシャンパンで乾杯し  
ました。

浦項市の人口は32~33万人、周辺部を合わせると  
約52万人のようですが、市内には29のロータリー  
クラブがあり、南浦項RCの会員数は140人余りと  
のことです。毎年、このような記念式典を開催する  
ことは大変だと思いますが、これだけ多くの会員が  
いるからこそ可能ではないかと思いました。

## 清川幹事

今回はガイドのキムさんに通訳も  
お願いしました。李東均さんしか日  
本語を話せないのが東均さんがい  
なくなると会話が途切れてしま  
うのですが、今回は、キムさんが  
いてくれたおかげで会話ができ  
るという事で気持ちが楽になり、  
そのせいかコリアンスタイルの  
乾杯をやり過ぎてしまいました。



南浦項に着いてお昼をごちそうになりましたが、  
大きな市場の中に南浦項RCの会員の経営している鮮  
魚店がありその三階で食事をいただきました。日本  
では見たこともないような食材もあり、小さな貝は  
どうやって食べるかわかりませんでした。思いっ  
きり吸うと中身が出てくるという事でした。そのほ  
かにはタイのお刺身などもありました。前回は気  
になりませんでした。今回はわさびの色に驚きました。  
すごく鮮やかな緑色ですが辛味はあまりなく日本の  
わさびのほうがよほど辛いです。出てきたカニはタ

ラバと説明されましたがどう見てもズワイではないかと思いました。写真をお見せできないのが残念です。鮮魚のほかに野菜なども扱っている大きな市場で八戸の市場とは規模が違います。今度南浦項に行かれる方は、是非見学されてはいかがでしょうか。

夜の二次会ではコリアンスタイルの乾杯で飲みすぎてトイレで記憶をなくしてしまい、気が付いたらベッドの上でした。会長にベッドまで運んでいただき大変ご迷惑をおかけしました。恥ずかしい話をさせていただいたところで私の報告を終わります。

### 佐々木会員



野澤年度で行って以来の韓国でしたが、今回は後見人として小原会長と清川幹事の後をついて歩きすべてお任せでした。

南浦項に着いてホテルまでの車中で黒田先生が向こうの月報のようなものを読んでいましたが、気になる記事があったらしく読んでみなさいと言う事でコピーをいただきました。

帰ってきてから榊さんをお願いして日本語に訳してもらいましたが、マッチンググラントの経歴が書かれていました。一番最初は浦項の老人介護施設への医療器の寄贈でしたが、ここは原田年度の時に訪問したところでした。これが16年で、17年は台湾への教育施設の寄贈、18年は台湾へパトロールカーの寄贈、19年はモンゴルの先天性心臓疾患の子供たちへの手術の支援など、ずっとやっているんです。素晴らしいことだと思えました。うちのクラブにも関係するものが出てきましたが、低所得層の児童及び福祉施設へのパソコン寄贈です。これは加藤年度の時に浦項からマッチングの依頼があったものをことわったと記憶しているのですが、八戸南 RC から2,000ドルのマッチングと書いてあるのです。調べてみたら主旨がよくわからず、一度お断りしたものを再度説明を聞いて受けたものに、黒田先生が個人的に上乘せして出したものでした。黒田先生どうもありがとうございました。最後は東日本大震災復興基金八戸蕪島海岸公衆トイレ復興事業プロジェクトでした。

南浦項クラブというのは人数が多いという事があるかもしれませんが、毎年のようにマッチンググラントを行っている、素晴らしいことだと思います。我々が姉妹クラブを締結した時はうちのクラブのほうが人数が多く、南浦項のほうが我々に教えてくださいという感じでしたが、人数から何から、行動を見ますと我々がずっと遅れてしまったなという感じを持たざるを得ません。色々な状況はあるとは思いますが南浦項は素晴らしいなと思えました。

### 黒田会員

行く前に向こうから FAX が届きまして、会員個人のお土産は無しにしようと言う事でしたが私たちクラブの会員もそう思っていますので大歓迎の提

案でした。基本的には会長同士がクラブを代表して記念品の交換をするという事です。だんだん向こうも分かってきて、韓国に行ったら韓国の、日本に来たら日本のやり方という事を徹底してきたようです。私たちが行ったときに、クラブ会長、直前会長、会長エレクト、会長ノミニの方たちが車の運転などを分担して迎えに来てくれました。



食事の時に八戸南は40周年がありますね、再調印はどう思っていますかと打診されましたが、そのうちに八戸南の榊会長(40周年時)から連絡が行くと思いますと、その程度に抑えておきましたが向こうは若いメンバーを中心に先、先と準備しているようでした。会長エレクト、会長ノミニになる方は、実は私たちのクラブの周年の時などに来てくれた人たちばかりです。来たときは若い人でしたがその人たちが会長エレクトや会長ノミニになり、姉妹クラブの事は大事にしていきたいという気持ちを感じました。

日韓の関係について、マスコミや政治家とかは日本との関係が悪いようだがどうですかと聞いたところ、我々草の根交流ではそういうことはないという事でした。その後行ったソウルでも一般市民からは悪い印象は受けませんでした。ロータリーや一般的な交流と、政治的なものやメディアは大分違うなという感じでした。また、日本人や外部の方々から、我々韓国国民の知らないことを聞く、慰安婦問題とか領土の問題は一部の人を除いてほとんど関心がなく、私たちは韓国に来た日本の人から聞いてびっくりしているという事で、そういう状況を聞いて驚きました。

李東均さんに言わせると八戸南の人たちは、お昼に来て例会と夜の二次会だけですぐに帰ってしまう。もっと交流しあわないと一部の人数だけの交流になってしまうので、時間に余裕をもってゴルフをしたり一緒に観光に行ったりしてほしいと言われ、なるほどなと考えさせられました。

今回の旅行は飛行機の接続の関係で羽田でだいぶ時間があり、一緒に行った小原さん、清川さん、佐々木さんとロータリーについてゆっくりと話ができて楽しい時間でした。私のようなお年寄りには楽な旅行でした。



